

Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

昨日のドルレアルスポット相場は、中国株の急伸やブラジル中銀による為替介入策の強化、Levy財務相自身による辞任観測の否定発言を背景にレアル買いが優勢となり、一時3.77台後半までレアル高が進行。しかし、その後引けにかけては反転し、3.82台前半で取引を終えた。8日の中国上海総合指数は、低調な8月貿易統計（輸出：前年同月比5.5%減、輸入：同13.8%減）を受けて下落したものの、相場安定化へ政府系ファンドが株式を購入しているとの観測が広がり、引け間際に急伸。また、中国が新たな景気刺激策を打ち出すとの期待も相場を押し上げた。中国株が安定したことで、グローバルにもリスク回避の巻き戻しが進行し、ボベスパ指数が前週末比0.6%高と堅調な動きを示した他、レアルを含む中南米通貨全体も上昇した。ブラジル中銀は先週末の取引終了後、8日にレポを通じてスポット市場に30億ドルを供給する方針を発表。中銀は3月24日に為替介入プログラムを終了して以降、介入残高を継続的に縮小させてきた。

中銀が公表した週次サーベイによると、2015年・16年の成長率見通しがいずれも下方修正（2.44%減、0.50%減）された他、インフレ率（IPCA）見通しも9.29%、5.58%へそれぞれ引き上げられた。9ヶ月に及ぶ利上げサイクルを打ち止めた中銀にとっては、インフレ抑制に向け一段と圧力が強まる恐れがある。

マーケットデータ

Indicator		Unit	9月4日	9月8日	前日比	8月7日	1ヶ月前比
レアル	対ドル	BRL	3,8434	3,8208	-0,0226	3,5072	+0,3136
	対円	JPY	30,98	31,36	+0,38	35,41	-4,05
	対ユーロ	BRL	4,2862	4,2808	-0,0054	3,8477	+0,4331
円	対ドル	JPY	118,99	119,81	+0,8200	124,24	-4,4300
	対ユーロ	JPY	132,68	134,22	+1,54	136,24	-2,02
Bovespa（ブラジル株価指数）		Index	46.498	46.762	+264	48.577	-1.815
CDS Brazil 5yrs（クレジットデフォルトスワップ）		bps	379,0	374,8	-4,2	326,3	+48,5
Brazil 10yrs Gov. Bond		%	15,08	14,98	-0,10	13,84	+1,14
DI Future Oct16（金利先物）		%	15,03	14,91	-0,12	14,48	+0,43
3 Months US Dollar Libor		%	0,332	0,332	+0,000	0,312	+0,020
CRB Index（国際商品指数）		Index	196,7	198,4	+1,7	198,3	+0,1

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。

ドルレアルスポットチャート



レアル円スポットチャート

